

待つことを楽しむ心

花と根の色が白いことから、『潔白』という花言葉が付いているそうです。真っ白い花が美しいだけでなく、葉や根、茎が食材として古くから重宝されていることから、その万能さが由来となり、『適応力』という花言葉も付いているそうです。土壌の適用力が高いという特徴も、その由来の一つとされています。

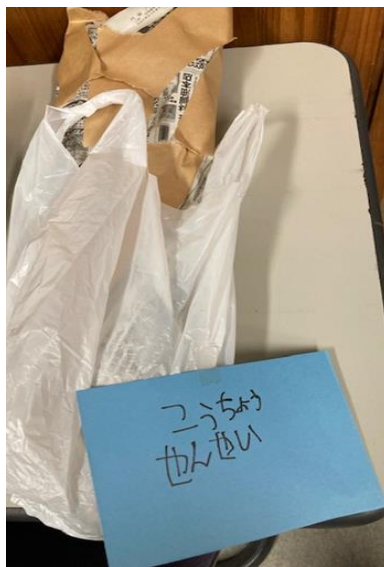
それは何かというと、春の七草などにおいて「すずしろ(清白)」とも呼ばれる、ご存じ「ダイコン(大根)」のことです。

小学部5年1組のみなさんが、種まきから収穫までの長い間、丹精込めて育ててきた「大根」をプレゼントしてもらいました。プランター栽培で収穫量も少ない中での大事な1本です。その1本は、丁寧に梱包され、宛書もしてくれていました。そこから、大切な1本であるという子どもたちの思いを感じる事ができました。校長室で丁寧に敬礼をお礼を伝えました。

さて、大根の収穫時期は、種まきから60~70日後くらいと言われています。毎日のお世話の大変さ、自分たちで育てる大変さを感じる一方で、成長や変化に気付き、収穫への期待感を膨らませながら、生命についての関心も高め、多くのことを学ぶことができたようです。

農作物でも、草花でも、なんでも育てることが上手な人は、「待つ」ことが上手な人だとよく言われます。待っていることに喜びや楽しみを感じていられることは、日常の努力と相関しているのではないのでしょうか。きっと、小学部5年1組の子どもたちも、収穫までの間、日々のお世話をがんばりながら、「待つ」ことを学び、「待つ」ことを楽しむ経験ができたのではないのでしょうか。

そのような子どもを育てることも、大人のかかわりが大切であり、子どものことをじっと待ってやれる(見守ってやれる)ことも、子どものなかの自主性や自律性が育つことに大切なことだと、担任の先生方から子どもたちの学習の様子を聞きながら、私も学びの多かった「ダイコン(大根)」栽培の学習でした。



もっと自由な発想と挑戦を楽しむ境地で鶴南の教育を創る
- 「R6 年度 学校運営方針」でめざす! -